

保育所（園）児の食生活と健康実態調査報告書

平成23年3月

福岡県

はじめに

健康でいきいきとした活力ある社会を実現するためには、次世代を担う子どもたちが健やかに成長することが大切です。

近年、核家族化や共働きの増加などによるライフスタイルの変化や意識の多様化と外食産業の成長などにより、食生活は大きく変化してきました。また、子どもの朝食の欠食や偏食をはじめとする栄養バランスの偏りなどが見られるため、子どもの頃からの生活習慣病予防対策が重要となっています。

福岡県では、子どもの望ましい食習慣の定着と健康づくりの推進を図るため「福岡県健康増進計画（いきいき健康ふくおか21）」において、多くの関係機関や健康づくり団体等が連携し、一体となった効果的な健康づくりを推進しております。

このたび、これまでの取り組みの評価を行い今後の施策に反映させるため、保育所（園）に通う幼児を対象に、健康と食生活についてのアンケート調査を実施しました。

この報告を、子どもたちのより良い食習慣の定着に向けて役立てていただければ幸いです。

なお、本調査に御協力いただきました保護者の皆様や関係機関等の皆様に心から感謝申し上げます。

平成23年3月

福岡県保健医療介護部健康増進課長

白石 博昭

目 次

第1部 調査の概要

調査の目的、調査の設計、実施主体、集計分析	1
協力保育所（園）	2

第2部 調査結果の分析

第1章 基本集計

1 食事の様子	3
2 朝食の摂取状況	8
3 お手伝いの状況	9
4 夕食の状況	10
5 睡眠の状況	11

第2章 朝食の摂取頻度との関連

1 朝食の摂取頻度と食事の様子	12
2 朝食の摂取頻度と食事づくりのお手伝いとの関連	16
3 朝食の摂取頻度と睡眠との関連	16

第3章 体型との関連

1 体型分布	17
2 体型と食事の様子	18

第4章 前回調査との比較

1 食事の様子	24
2 朝食の摂取頻度	28
3 お手伝いの状況	28
4 睡眠の状況	28

第3部 要約および今後の課題

第4部 参考資料

1 集計結果	21
--------	----